

セツブンソウとコセリバオウレン

2014年3月始め、早春の山野草がようやく咲き始め植物講座のメンバーと山に入りました。里山に春を告げるセツブンソウとコセリバオウレンが咲いており、観ているだけで心豊かになりました。



セツブンソウ(キンポウゲ科)です。今年は開花が例年より半月ぐらい遅れていました。この場所は個人の草刈場でセツブンソウを長年養生されていますが、ご好意で毎年観ることが出来ます。心無い人間が、最大の敵でごっそり持ち去るとの事で悲しい事です。10cmの背丈で10m四方の地面からピッシリ芽を出し競うように咲き始めていました。後半月もすれば一面に咲き誇ると思います。



コセリバオウレン(キンポウゲ科)です。ここは杉や檜が植樹されている山林の林道沿いの一角に咲いていました。すぐ脇には小さな谷が流れており微かな朝日と谷のせせらぎがあり幻想的な空間です。背丈は10cm程度で群生しており撮影する時にも踏み荒らさないよう気を使います。僅かな風でも花卉が揺れ、中々シャッターチャンスが来てくれませんでした。ようやく収めました。